

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2023 No.573

9 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2023年度 第4回理事会 開催される (Web併催)

2023年7月8日(土)午後2時より、2023年度第4回理事会が日本診療放射線技師会事務所においてWeb会議システムを併用して開催されました。冒頭に上田会長のあいさつがあり、全国各地で線状降水帯による大雨災害発生や災害の危険度が高まる可能性があるため、命の安全、患者さんの安全を意識した対応をお願いするとともに、被災された会員には本会としても支援を続けていくことが述べられました。

理事会の主な議題は、「JART Vision 2040について」「学術奨励賞の表彰候補者、社会活動表彰(江間賞)について」「第1回日本放射線医療技術学術大会(40th JCRT)の参加費について」でした。

上田会長からは、JART Vision 2040について説明がありました。本会の組織率の向上を踏まえた長期目標として「国民から求められる新たな役割の獲得」、小項目として「放射線業務以外の拡大」「病院以外の業務拡大の必要性」について説明されました。また中期目標として5年後に組織率を70%にすること、四病協・養成機関との連携の強化、管理者の育成とリーダーの活用、日本診療放射線技師会の組織強化について詳細な説明がありました。加えて短期目標の組織

率・事業・組織の3つの項目について説明がありました。審議の結果、いずれも全会一致で承認されました。

川守田理事からは、学術奨励賞の表彰候補者について、また園田理事からは、社会活動表彰(江間賞)の表彰候補者について、各賞10人の候補者の紹介がありました。審議の結果、いずれも全会一致で承認されました。

江端理事からは、2024年10月31日(木)から11月3日(日・祝)にかけて沖縄コンベンションセンターで開催する、第1回日本放射線医療技術学術大会(1st JCRTM、40th JCRT)の参加登録費について説明がありました。日本放射線技術学会との初めてとなる合同開催であり、過去の大会の参加人数を参考に登録人数を推定し、試算した大会収支から参加登録費が提案されました。審議の結果、全会一致で承認されました。

報告事項としては、地域理事、各委員会などから38項目の報告がなされ、資料と共に共有されました。最後に、園田理事より今後のスケジュールが確認され、本理事会は終了しました。

詳細は、本会会誌に掲載される2023年度第4回理事会議事録(抄)をご参照ください。

事務局長人事異動のお知らせ

上島隆事務局長の任期満了による退任に伴い、2023年7月1日付で堀住雄策氏が後任の事務局長として就任することとなり、7月3日(月)に辞令交付式が執り行われました。



INFORMATION

2023年度 都道府県（診療）放射線技師会 新任会長会議 開催される（Web併催）

2023年7月8日（土）、2023年度都道府県（診療）放射線技師会新任会長会議がWeb併用で開催されました。JARTからは、上田会長、江藤副会長、富田副会長、児玉副会長、江端業務執行理事、川守田理事、園田理事が出席し、新任会長は、鈴木会長（山形県）、五十嵐会長（群馬県）、富田会長（埼玉県）、江田会長（東京都）、宮崎会長（和歌山県）、高尾会長（岡山県）、壹岐会長（鳥取県）、古川会長（鳥根県）、大元会長（愛媛県）、中村会長（高知県）、北村会長（佐賀県）が出席しました。

冒頭、上田会長よりあいさつがあり、園田理事の進行で会議が開催されました。本部役員、新任会長らの自己紹介後、議事に入り、本年度の議事は（1）JARTの本年度事業について（2）第39回学術大会について（3）都道府県との業務委託契約について（4）退会者の報告について（5）JART組織と表彰規程について（6）新任会長からの要望について、各担当理事より説明がありました。

本年度も、新任会長よりさまざまな要望や意見などを頂き、本部役員と活発な意見交換が行われ、2023年度新任会長会議は和やかな雰囲気の中終了しました。

2023年度～ 新任会長一覧

山形県	鈴木 幸司
群馬県	五十嵐 博
埼玉県	富田 博信
東京都	江田 哲男
和歌山県	宮崎 雄司
岡山県	高尾 渉
鳥取県	壹岐 勝
鳥根県	古川 春美
愛媛県	大元 謙二
高知県	中村 伸治
佐賀県	北村 茂利

（敬称略）

2023年度 全国地域連絡協議会（全国会長会議） 開催される（Web併催）

2023年7月16日（日）午前10時より、2023年度全国地域連絡協議会が、地区責任者（都道府県会長）と日本診療放射線技師会役員の参加で、日本診療放射線技師会事務所においてWeb会議システムを併用して開催されました。

冒頭に上田会長のあいさつがあり、各地域で発生した豪雨災害に対するお見舞いがありました。各地域でのハザードマップや災害が発生した場合の注意について、改めて確認をお願いされました。

また本年度、新たに就任された11地区（山形・群馬・埼玉・東京・和歌山・岡山・鳥取・鳥根・愛媛・高知・佐賀）の会長の紹介とあいさつがありました。

報告事項として、上田会長からは、令和5（2023）年度事業計画について、11項目からなる主な事業計画案ならびにスローガン「期待される診療放射線技師の役割に応えよう」について報告されました。加えて診療放射線技師職の継続と発展を目指した「JART Vision 2040」の長期・中期・短期計画（目標）について詳細な解説がありました。また災害等での危機管理の方策についてJART業務継続計画の説明がありました。

江藤副会長からは、都道府県技師会長および若手会員との

懇談会企画について説明がありました。懇談会でのJARTへの質問、要望事項の件数と懇談事項について詳細な解説がありました。

西小野大会長からは、第39回日本診療放射線技師学術大会について、演題登録415演題、機器展示企業35、ランチョンセミナー12、モーニングセミナー1、VRハンズオンセミナー1で開催するとの報告がありました。加えて事前参加登録と情報交換会参加の依頼がありました。またJART年度会費が未納の場合は、事前参加登録ができないとの注意喚起がありました。

児玉副会長からは、告示研修の実施状況について説明がありました。講習会申込者数29,105人（51.2%）、基礎講習修了者数21,839人（38.4%）、実技研修修了者数11,834人（20.8%）であり、2022年度の目標が達成され厚生労働省に報告した旨の説明がありました。これに対して、各県の受講修了人数の把握方法について質問がありましたが、各県別の非会員の受講数を把握することは難しいが、会員受講者数については、今後、開示するように委員会に指示をしているとの回答がありました。また2024年度に診療放射線技師養成校で開催する3年生学生向け告示研修の実施について説明がありました。

江端業務執行理事からは、2022年4月1日付会費未納除籍者に対する債権回収について説明がありました。5月末までの回収率は、JART51.9%、都道府県53.9%ということでした。

災害対策委員長 界外理事からは、各都道府県会長に照会をかけている被災状況確認の目的について説明がありました。人的被害や居住家屋が被害を受けた際には、災害による会費免除申請書（罹災証明書が必要）の提出で年会費の免除を受けられ

ること、床下浸水についても、義援金を募集した際の配分や配分額の決定のために必要な情報であることが説明されました。

さらにJART組織体制、第1回合同学術大会開催、学術大会受付登録システム、クリニカルラダー、表彰規程、レントゲン週間イベント費用支出について、各役員から説明がありました。

最後に上田会長から、今後とも各地域技師会との連携を図ることが述べられ、本会議は終了しました。

2023年度 放射線治療分科会主催 生涯教育セミナー in 沖縄 開催報告

放射線治療分科会 委員
霜村 康平（京都医療科学大学）

2023年6月10日（土）、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターで、「乳がん」術後放射線療法～治療計画装置の基礎から臨床プランの実際～」をテーマに、生涯教育セミナーを沖縄県放射線技師会と共催しました。沖縄県での講習会は、関連団体も含め開催回数が圧倒的に少ないため、コロナ禍以前より準備を進めてきた念願の開催でした。セミナー当日は、沖縄県放射線技師会担当の方の心遣いで、沖縄県の正装である「かりゆし」をご用意いただき、講師全員が着用し講義をしました。沖縄はまだ初夏でしたが、心熱く講義をさせていただきました。

参加者は、17施設（沖縄県12施設）から35人でした。本セミナーは、治療計画を診療放射線技師が担うことを目指して、乳がん術後放射線療法における治療計画実施に必要な知識を学ぶために開催されました。初めに、解剖学や腫瘍学といった基礎知識と具体的な治療計画の流れと手法について講義をしました。次に、治療計画の手法を理解するために必要となる放射線治療計画装置の基礎的な動作と、処方点決定に重要となる線量計算アルゴリズムの基礎について講義し、臨床現場を支えるために必要となる物理・技術的知識の関連性



受講風景

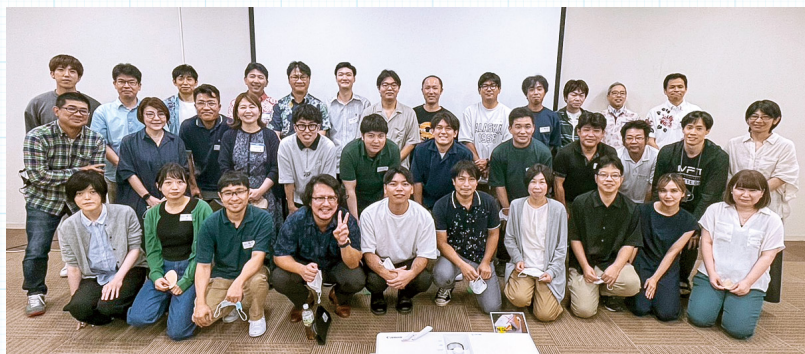
と重要性について理解を深めました。さらに事前アンケート結果を基に、乳がん術後放射線療法における各施設の取り組みをテーマとしたグループディスカッションを行い、他施設の状況や情報について共有しました。

それぞれの講義で、受講者は講義内容をメモするなど熱心に受講いただき、グループディスカッションでは、初めは戸惑っていた受講者も、後半には互いの考えや施設での取り組みについて情報を交換するなど、活発な議論となりました。

本セミナーにご参加いただいた方々、広報および会場設営などにご協力いただいた沖縄県放射線技師会の方々、事前準備から当日の治療計画装置のデモンストレーションまでご協力いただいた株式会社バリアンメディカルシステムズの担当者の方々、本セミナー開催にご尽力いただいた当会の関係各位に、心からお礼を申し上げます。



修了証授与



集合写真

2023年度 第1回骨関節撮影分科会セミナー 開催報告

骨関節撮影分科会 委員 辻井 貴雄

2023年7月9日(日)、2023年度第1回骨関節撮影分科会セミナーが、京都で3年ぶりに現地開催されました。今回のセミナーは、「変わりゆくX線撮影について」という講演を皮切りに、委員7人による7時間の長丁場のセミナーとなりました。久しぶりの現地開催ではありましたが、遠方からの参加も含め、62人の受講者が京都に集まりました。講演の内容は、救急領域や小児領域、上肢や下肢、THA・TKAなどの



人工関節と多岐にわたる内容で、肩の領域ではMRIとのコラボもあり、あっという間の1日でした。さらに講演の中では、現地開催ならではの受講者と共に補助具を使用したポジショニングの実演も行われ、座学だけではない講演となりました。また講演内での質疑応答に加え、休憩時間やセミナー終了後におのおの演者に直接質問をしている姿も多数見られ、とても熱気に溢れたセミナーとなりました。

骨関節撮影分科会では、今回のような現地開催と気軽に受講していただけるWebセミナーの開催を計画しています。

今後とも、セミナーやアンケートなど骨関節撮影分科会の活動にご協力をお願い致します。

2023年度 第1回放射線被ばく相談員講習会 開催報告(Web開催)

放射線被ばく相談員分科会 分科会長 五十嵐 博

2023年7月23日(日)午後0時25分から、第1回放射線被ばく相談員講習会をWebで開催致しました。これまでは年間2回の開催でしたが、昨年度から年間3回の開催に増やしました。さらに各回の受講定員も増やすことで対応しているところです。今後も受講を希望される多くの方が受講できるよう、分科会としても努力をしております。

この講習会は、模擬被ばく相談を含む傾聴訓練を実施することが大きな特徴といえます。本来、傾聴訓練は対面で実施することが基本となります。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、本講習会もWebで開催する方式に転換致しました。上半身しかカメラに写らず、全身で訴え掛ける非言語的コミュニケーションへの対応が困難な部分では

ありますが、自宅などから気軽に参加でき、交通費や移動時間を削減できることは大きなメリットと考えます。

講習会では「被ばく相談における傾聴の重要性」と題し、横浜労災病院で心理判定員をされている塚野佳世子先生からご指導いただきました。臨床現場で傾聴を実践している塚野先生のご講演はとても分かりやすく、傾聴の基礎を学ぶことができました。

続いて6人1組のグループで傾聴訓練を実施しました。模擬被ばく相談では、受講者が実際に経験した事例を相談者として演じる場面もあり、真剣に相談対応している姿が印象的でした。塚野先生のご講演の直後に傾聴訓練を行うことで、傾聴の重要性も再認識できたと考えます。

傾聴を重視する被ばく相談への対応ができる放射線被ばく相談員が、全国の臨床現場で活躍することで、被ばくに関する不安や悩みを抱える患者さまやそのご家族の助けになることを期待しております。

2023年度 公益社団法人日本診療放射線技師会 関東甲信越診療放射線技師学術大会 開催報告

一般社団法人山梨県診療放射線技師会
会長 宮崎 旨俊

2023年6月24日(土)から25日(日)までの2日間にわたり、山梨大学甲府キャンパスで、2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会を開催しました。

本大会は新型コロナウイルスの影響により、予定より2年遅れての開催となりました。開催期間中は好天に恵まれ、会員、非会員、学生を含め374人の参加がありました。熱中症対策としてクールビズを採用させていただき、大変好評でした。

大会テーマは「日に新たに また日々新たなり」です。毎日、新たな気持ちで新たな学びを続けていくことで自分も成長し、周囲にも良い影響を及ぼしていく、その地道な積み重ねによって今日から未来へとつながっていくという意味があります。そして技術と人間の融合する場がこの山梨大会だという気持ちを込めて、サブタイトルを「心と技術をつなぐ甲斐」とさせていただきます。



市民公開講座



本大会では、一般口述発表40演題、学生セッション12演題のご登録を頂き、活発な議論がなされました。また上田会長による会長講演に続き、特別講演として山梨大学医学部教授の大西洋先生、衆議院議員の畦元将吾先生に、教育講演として山梨大学医学部准教授の荒木拓次先生、山梨県立中央病院放射線部統括副部長の斉藤彰俊先生にご講演いただきました。また市民公開講座として東京パラリンピック4位入賞で本県出身の鈴木徹選手からは、競技者としての貴重なお話を伺うことができました。その他、Basicセミナーやタスクシフト・シェア、STAT画像報告、ノンテクニカルスキル、FRTなどのシンポジウムにも多くの方にご参加いただきました。

昨年度の群馬大会に続いて、本年度も対面式の学術大会を開催することができました。また5月に新型コロナウイルスが5類に移行したことで、情報交換会も開催させていただくことができ、久しぶりに対面で親睦を深めることができました。上田会長をはじめ南・北関東地域理事、1都9県の会長ならびに多くの皆さまからご支援、ご協力を頂き、成功裏に閉会することができました。この場をお借りして御礼を申し上げます。来年度の栃木大会で再びお会いできることを楽しみにしています。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

長崎県 (Web併催)

一般社団法人長崎県診療放射線技師会 学術理事 小浦 哲

2023年7月7日(金)・9日(日)の2日間に分けて、2023年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーを開催しました。

初日は、Zoomを利用したWebで日本診療放射線技師会入会の案内についての説明、マナー・エチケット、医療コミュ

ニケーションについての動画を視聴していただきました。

2日目は、会場およびWebのハイブリッド開催で感染対策、被ばく低減、胸部写真、医療安全の研修を行いました。

病院に就職して3カ月程度医療職に従事し、医療コミュニケーションの大切さ・難しさ、医療安全を担保した業務の

必要性などを実感していると思われる時期に、今回のフレッシュャーズセミナーは非常に有意義な内容であったと思います。

受講者からは、「医療被ばくや医療安全など、診療放射線技師としての知識をもっと増やす必要があると感じました」「学会などに積極的に参加し、自分自身の知識のアップデートを図ってほしいと思いました」「本日のセミナーを通して学んだことを生かして、今後もより良い医療の提供と、安全な業務ができるよう精進します」といった感想が聞かれました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、いまだ施設によっては研修会への現地参加への制限があり、本年度もWebを併用したハイブリッドで開催致しました。

また長崎県は離島を多く有し、離島の施設への入職者に

いても受講しやすいよう、今後もWebによる研修会を企画していきたいと考えています。

受講者

初日：10人(Web)、2日目：6人(現地)・4人(Web)



大分県

公益社団法人大分県放射線技師会 会長 吉田 幸人

2023年7月8日(土)、大分市よつばファミリークリニックを会場として、フレッシュャーズセミナーを開催致しました。3年ぶりの対面開催となった今回は、大分県下14施設に本年度入職した19人の新人診療放射線技師が集い、受講していただきました。セミナーは、「感染対策」「呼吸器疾患～胸部CT画像を読むように～」 「医療被ばく」「医療安全(基礎的知識とチーム医療コミュニケーション)」「胸部撮影法の基礎」「入会案内」「医療人のための接遇・マナー」といった9講義6時間のプログラムで構成しました。

ハードスケジュールにもかかわらず、参加者は誰一人欠けることなく最後まで熱心に耳を傾け受講していただきました。講師陣も、参加者の真剣なまなざし・姿勢、そして反応を久しぶりに直接肌で感じ取ることができ、大変有意義な時間を共に過ごすことができました。終了後には参加者間で交流する場面も随所に見られました。今回のセミナーを機会に、一人でも多く会員となって、さらにコミュニティの枠を広げ、自身の成長につなげてほしいと願うばかりです。



山口県

一般社団法人山口県診療放射線技師会 理事(教育) 渡邊 征二

2023年7月9日(日)、パルトピアやまぐち2階第一会議室でフレッシュャーズセミナーを開催しました。参加者は18人でした。

講義は、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「医療安全」「感染対策」「被ばく低減」「胸部撮影(気管支解剖を含む)」「診療放射線技師会の活動について(入会案内)」の7科目としました。

7月7日から停滞していた梅雨前線の影響により、各地で大雨・洪水警報が発表されている状況下ではありましたが、予定通り開催し、出欠席については参加申込者の判断に委ねることとしました。

欠席多数の状況も想定していただけに、悪天候にもかかわらず会場へ足を運び、熱心に講義を受けていただいた受講者に感謝申し上げます。また近隣の警戒レベルや交通機関の事情により参加を見送られた方には、ぜひ次の機会に参加いた

できれば幸いです。

本セミナーの趣旨は、医療人としての心構えや基礎知識の習得および診療放射線技師会への入会促進ですが、新人診療放射線技師の顔合わせの場としての意義もあると考えています。今後も、できる限り会場参加型での開催を継続していきたいと思



告示研修 開催報告

岡山県

公益社団法人岡山県診療放射線技師会 会長 高尾 渉

岡山県では、「令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修」を2023年7月8日(土)・9日(日)に、津山市の津山中央病院で開催致しました。受講者は両日合わせて93人で、そのうち県外からの受講者は13人でした。津山市は岡山県の北部に位置し、受講者の多くは岡山県北部在住の方で、また高速道路のICから近いこともあり県外からの受講者も多く参加いただきました。津山市開催は今回が初めての試みであり、岡山県北部の地域開催ということで、ファシリテーターの皆さんには前日から泊まり込みで準備を進めていただきました。会場は、午前中の動画視聴を津山慈風会記念ホールで行い、午後からの実技研修は津山中央病院研修センター2階・3階フロアの計3カ所を使って実施しました。今回、若手技師の参加者が多く受講されており、ファシリテーターからの指導を、皆、真剣に聞き、実技講習に取り組んでいたのが印象的でありました。ぜひ、自施設で今回取得した技術・知識をどんどんと発揮していただき、タスクシフトを進めていただければと思います。

今回の課題として、岡山県ではファシリテーターがやや不足気味です。余裕のある研修を実現するため、今後、ファシリテーターの増員を検討しています。

最後になりましたが、今回のセミナーでご尽力いただきました本会教育委員会、講師の皆さま、津山中央病院さま、JART事務局の皆さまに感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



島根県

一般社団法人島根県診療放射線技師会 教育委員長 西平 守人

島根県では、新型コロナウイルス感染症の影響から、2021年度は告示研修の開催を見送り、2022年度からの開始となりました。そして2023年7月16日(日)、第3回の告示研修を松江赤十字病院で開催致しました。この研修が終わった時点で、島根県診療放射線技師会の正会員の受講率は34.6%となっています。本県では、今回初めて受講者の定員が一杯になりました。昨年度は各施設において拡大業務の運用が定まらず、受講に消極的な側面もあったのではないかと推測します。

島根県での告示研修はコロナ禍ということもあり、会場の選定に苦慮しました。実技研修全てを会議室などで賄える施設は見つからず、苦肉の策で病院施設の外来フロアや廊下な

どを実技研修の場としてセッティングする方法で、これまで3回開催してきました。準備・片付けに手間は掛かりますが、実技研修の場としては意外に機能的で、これまで特に大きな問題もなく開催できています。第4回は、今年12月に島根大学医学部看護棟で開催する方向で調整を行っています。コロナが5類に移行されたことで、十分な広さの講義室を有している会場で開催できることをうれしく思っています。

最後に、これまでの告示研修にご参加いただいた受講者をはじめ、研修の開催にご尽力いただいた全ての関係者に感謝を申し上げ、これから先の告示研修開催に取り組んでまいりたいと思います。



都道府県（診療）放射線技師会会長および事務所一覧

技師会名	会長	郵便番号	住所	電話番号
一般社団法人北海道放射線技師会	富田 伸生	064-0823	札幌市中央区北三条西29-3-2	011-643-2713
公益社団法人青森県診療放射線技師会	佐藤 兼也	030-0803	青森市安方2-17-15-802 ライオンズマンション新町通	017-763-0931
一般社団法人岩手県診療放射線技師会	目時 毅	028-3603	紫波郡矢巾町西徳田5-20-70	019-698-2155
公益社団法人秋田県診療放射線技師会	豊嶋 英仁	010-1106	秋田市太平山字谷中山谷247-32	018-838-3231
公益社団法人宮城県放射線技師会	坂本 博	983-0824	仙台市宮城野区鶴ヶ谷3-4-15	022-388-3777
一般社団法人山形県放射線技師会	鈴木 幸司	990-9585	山形市飯田西2-2-2 山形大学医学部附属病院 放射線部内	023-628-5786
公益社団法人福島県診療放射線技師会	新里 昌一	963-0201	郡山市大槻町字原ノ町3-1	024-954-7595
一般社団法人新潟県診療放射線技師会	小林 功	950-0822	新潟市東区新岡山2-1-18	025-257-2255
一般社団法人栃木県診療放射線技師会	吉成 亀蔵	320-0032	宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館4F 404号室	028-625-7979
公益社団法人茨城県診療放射線技師会	圓谷 明男	310-0851	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5F	029-243-6747
一般社団法人群馬県診療放射線技師会	五十嵐 博	371-0022	前橋市千代田町1-7-4 群馬メディカルセンター本館5F	080-8709-5978 (技師会携帯)
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会	富田 博信	331-0812	さいたま市北区宮原町2-51-39	048-664-2728
一般社団法人千葉県診療放射線技師会	滝口 裕	260-0843	千葉市中央区末広3-24-9 セザール蘇我102	043-264-9101
公益社団法人東京都診療放射線技師会	江田 哲男	116-0013	荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号室	03-3806-7724
公益社団法人神奈川県放射線技師会	田島 隆人	231-0033	横浜市中区長者町4-9-8 ストーク伊勢佐木一番館501	045-681-7573
一般社団法人山梨県診療放射線技師会	宮崎 旨俊	400-0035	甲府市飯田2-19-7	055-235-7553
一般社団法人長野県診療放射線技師会	柳澤 直樹	390-0847	松本市笹部1-3-7 GBオフィス102号	0263-87-7778
公益社団法人石川県診療放射線技師会	森下 毅	926-8605	七尾市富岡町94 社会医療法人財団董仙会 患寿総合病院 放射線課内	0767-52-3211
公益社団法人富山県診療放射線技師会	石浦 幸成	930-0115	富山市茶屋町225-2	076-429-7575 (会長勤務先)
公益社団法人福井県診療放射線技師会	山崎 巖	910-0851	福井市米松1-16-31 NTビル2F	0776-57-0696
公益社団法人静岡県放射線技師会	高橋 真	420-0064	静岡市葵区本通1-3-5 フェリス本通202	054-251-5954
公益社団法人愛知県診療放射線技師会	水口 仁	467-0807	名古屋瑞穂区駒場町5-12-5 ハイライズ瑞穂2-C	052-851-5571
公益社団法人岐阜県診療放射線技師会	加藤 秀記	500-8384	岐阜市数田南3-5-23-503	058-272-0082 (TEL/FAX)
一般社団法人三重県診療放射線技師会	界外 忠之	514-0032	津市中央2-4 三重ビル502号	059-225-1491
公益社団法人滋賀県診療放射線技師会	武田 宣明	520-8511	大津市長等1-1-35 大津赤十字病院 放射線技術部内	077-522-4131 (内線2203)
公益社団法人京都府診療放射線技師会	河本 勲則	604-8472	京都市中京区西ノ京北壱井町88-1 二条プラザ1F	075-802-0082
公益社団法人奈良県診療放射線技師会	高谷 英明	634-0076	橿原市兵部町2-9 フレガビル4F	0744-24-6270
一般社団法人和歌山県放射線技師会	宮崎 雄司	641-0011	和歌山市三葛247-1 KMビル2F	073-488-1500 (内線76250)
公益社団法人大阪府診療放射線技師会	藤田 秀樹	543-0018	大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館5F	06-6765-0301
公益社団法人兵庫県放射線技師会	後藤 吉弘	650-0022	神戸市中央区元町通5-2-3-1011	078-351-5172
公益社団法人岡山県診療放射線技師会	高尾 涉	700-0867	岡山市北区岡町16-10-201	086-235-1313
公益社団法人広島県診療放射線技師会	木口 雅夫	730-0853	広島市中区堺町2-4-26 ラフィネ堺町204	082-208-1434
一般社団法人鳥取県診療放射線技師会	壹岐 勝	680-0901	鳥取市江津730 鳥取県立中央病院 中央放射線室内	0857-26-2271
一般社団法人島根県診療放射線技師会	古川 春美	690-0332	松江市鹿島町佐陀本郷133-2	0852-33-7251
一般社団法人山口県診療放射線技師会	三輪 光良	753-0814	山口市吉敷下東3-1-1 山口県総合保健会館3F	083-923-1120
一般社団法人徳島県診療放射線技師会	藤原 良介	770-0855	徳島市新蔵町3-80 徳島県東部保健福祉局 徳島保健所 疾病対策担当	088-602-8907
一般社団法人香川県診療放射線技師会	門田 敏秀	760-0080	高松市木太町2367-1	087-862-2626
公益社団法人愛媛県診療放射線技師会	大元 謙二	790-0825	松山市道後樋又8-29 メゾンド・ルー道後樋又403号	089-989-4941
公益社団法人高知県診療放射線技師会	中村 伸治	780-0850	高知市丸の内1-7-45 高知市総合あんしんセンター2F	088-872-4585
公益社団法人福岡県診療放射線技師会	中村 泰彦	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡内	092-631-1184
一般社団法人佐賀県放射線技師会	北村 茂利	849-8501	佐賀市鍋島5-1-1 佐賀大学医学部附属病院 放射線部	0952-34-3177
一般社団法人長崎県診療放射線技師会	福田 徹	852-8501	長崎市坂本1-7-1 長崎大学病院 医療技術部 放射線部門	095-819-7435
公益社団法人大分県放射線技師会	吉田 幸人	870-0023	大分市長浜町2-7-22 株式会社マイタスコミュニケーション内	097-574-7625
一般社団法人熊本県放射線技師会	西小野 昭人	861-8528	熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内	096-386-1388
一般社団法人宮崎県放射線技師会	蕪 俊二	880-0902	宮崎市大淀3-5-18 南宮崎駅前ビル2F	0985-51-5860 (留守番電話対応)
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会	太田原 美郎	892-0861	鹿児島市東坂元4-28-11	099-248-0028
一般社団法人沖縄県放射線技師会	長野 篤	901-2104	浦添市当山2-5-11-103	098-942-1375

* の部分につきましては、昨年度より変更となっています。

(2023.7.31 現在)



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists 日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール 会長 | 上田 克彦
[ハイブリッド開催] [公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

大会長 | 西小野 昭人
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 | 厚生労働省/日本放射線技術学会
熊本県/熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる 技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 変わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

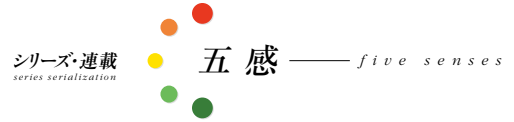
大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

第39回日本診療放射線技師学術大会に参加しよう!!



9月といえば、日本診療放射線技師学術大会のシーズンです。今年感染症対策は取りますが、4年ぶりの制限なしの学術大会となりますので、私の期待度はMAXです。さらには感染症対策のためものとしてオンデマンド配信もあり、自宅にも参加はできますが、やはりリアル参加での臨場感は格別です。SNSを通じて全国の技師の友人と、いつも会っているような、気持ちが通じているような感覚はありますが、顔を合わせて語らう時間はお互いのモチベーションを最高潮に高めてくれます。

私は熊本県に行くのが初めてですが、ベタな「加藤清正」「熊本城」「阿蘇山」そして「くまモン」は知っています。そして熊本産の「トマト」と「でこぼん」はわが家の食卓の常連です。何より「加藤清正」は私の好きな武将の一人です。勇猛果敢でありながら、義にも厚く、熊本城の築城など、肥後の国の統治にも手腕を発揮しました。こんなにも文武両道でバランスの

取れた武将に心から憧れますね。

さらに驚いたことに、「加藤清正」と私の住む山形は、遠く離れているようでご縁があったようです。寛永9年(1632)、清正公の嫡子、忠廣が肥後54万石を幕府に没収され、現在の山形県である庄内藩・酒井氏預けになったのです。酒井氏は居館を建てて迎え入れており、忠廣は生母・正応院と共に山形に入り、病没まで22年を過ごしました。

なんと山形は加藤家終焉の地だったのです。もう、私の中で熊本県は急に身近な県になりました。

さて、学術大会は己の信念を持った多くの診療放射線技師が、日頃の研究と研鑽を発表する、いわば合戦の場でもあります。そのような場所で、現代の「加藤清正公」に出会えるかもしれない、と私の期待は膨らむばかりです。

皆さん、第39回日本診療放射線技師学術大会、熊本で会いましょう！ (文責：佐藤 晴美)

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

- フレッシューズセミナー開催予定： 石川 9月1日(金)～8日(金) 宮城 9月2日(土)
静岡 9月2日(土) 岡山 9月9日(土) 神奈川 9月10日(日)

9月・10月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 下肢静脈超音波検査実習： 熊本 2023年 9月29日(金)
- 放射線サーベイ実習： 熊本 2023年10月 1日(日)
- 画像等手術支援認定講習会： Web開催 2023年10月 9日(月・祝)
- 骨関節撮影分科会 Webセミナー： Web開催 2023年10月12日(木)
- 放射線取扱主任者定期講習： 東京 2023年10月20日(金)
- 消化管造影セミナー： Web開催 2023年10月24日(火)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修(実技研修)／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース(会場型)： 本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- 告示研修(基礎研修) 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※配信を再開しました。
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す在宅講習受講生の募集 ・ラダーレベル3 2023年12月15日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※各認定資格試験終了日(2024年1月)まで何度でも視聴いただけます。
- Ai認定講習会(e-ラーニング) 2023年10月2日(月)午前0時から12月19日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会(在宅)
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修(在宅) 2023年12月22日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2024年1月27日(土)まで何度でも視聴いただけます。
- オンラインセミナー(在宅)：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。